

簡単な手話を使った視覚支援について

手話について

- 【手話とは】 聴覚に障がいのある人がコミュニケーションをとったり物事を考えたりするときに使うことばで、手指の動きや表情などを使って概念や意思を視覚的に表現する視覚言語です。
- 【接し方】
- ・聞こえない、聞こえにくい人の前に立って、口をやや大きく開いて簡単な単語を短く1小節ごとに区切って、ゆっくり、わかりやすく話してください。
 - ・聞こえない、聞こえにくい人には、後ろや横から話しかけないで、正面から話してください。

日常生活の中で、身振り手振りなど身体を使ったサインを使ってコミュニケーションをすることがあると思います。聞き取りにくい子や言葉の理解が難しい子にも、視覚的にわかりやすい指示は有効です。

手話は聴覚に障がいのある人だけでなく、様々な支援の場面で活用できます。知っている则便利な、簡単な手話を紹介します。

おはようございます

「朝」



(枕を取る動き)

「あいさつ」



こんにちは

「昼」



(時計の針が12時の位置)

「あいさつ」



簡単な単語・動詞など
(会話を補完する手段)

ありがとう



ごめんなさい



わたしの



なまえは



～です



トイレ



いっしょに



給食の場でも

みんなが大好きな給食、「食べる」という動作を表すものだけでなく、献立や食べ物
の名前など、いろいろな手話があります。

きゅうしょくは

